

一般質問

16名の議員が聞いた!



12月議会は16名の議員が質問に立ちました。次のページからご覧ください。(QRコードから録画映像が見られます)

質問議員		ページ
	渡邊雄三 (公明党)	P.8
	小林由明 (チームつばめ)	
	樋浦恵美 (公明党)	P.9
	長井由喜雄 (日本共産党)	
	柴山唯 (チームつばめ)	P.10
	土田昇 (日本共産党)	
	田澤信行 (新風みらい)	P.11
	埴豊 (大河の会)	
	宮路敏裕 (日本共産党)	P.12
	齋藤信行 (大河の会)	
	堀勝重 (新風みらい)	P.13
	柳川隆 (市民クラブ)	
	タナカ・キン (市民クラブ)	P.14
	中山眞二 (新風みらい)	
	岡山秀義 (チームつばめ)	P.15
	大岩勉 (新風みらい)	

Mini Column

議会だより、届いていますか?!

～市民の皆さんに
議会活動を伝えたい!～

議員活動の最たるものが議案審査です。議案は、市民生活に関わるものも多く、その内容を審査する必要があります。しかし、ココで疑問が……。

質疑やその答弁など、審査内容が市民の皆さんに届いているのだろうか?

そこで、我々が大切にしたのは「市民の皆さん=大切な読者」という大原則です。大切な読者に届くよう、次のことにこだわり、編集しています。

こだわり①

『見出しだけ』でも伝わる!

斜め読み歓迎!見出しで「おっ」と思ったら、じっくり読んでください!

こだわり②

きめ細かく!分かりやすく!

「議案名」でなく、「議案の内容」を大きく。色で情報を識別しやすく。など

本紙は、昨年12月発行の「議員研修誌 地方議会人」の「市町村議会報クリニック」に申し込み、議会報の専門家からアドバイスを頂きました。

課題はありますが、「完成度は高く、市民目線で編集されている」と一定の評価をいただきました。今後も「議会活動が伝わる」紙面づくりに励みます。



「議会活動を伝える」までが議会の責任です
(『地方議会人』2020年12月号)

